

臨教の病休、4/1から 90日に拡大!

臨教不足が言われる中、「こんな待遇改善をしてくれる高知なら、臨教をやってみよう」と思ってもらえる改善をと、高知県教組では臨教の待遇改善を県教委に強く要望してきました。その結果24年度に、要求項目の一つであった現在年間10日しかない臨教の病休が正採と同じ90日に拡大されることになりました。この点は、大きな前進であり、今までの運動の成果です。更なる改善も目指してこれからも運動を継続していきます。



24年度 第1号
通巻1799号

発行所:
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



藤原辰史さん講演、大盛況!

去る3月17日(日)

14時から17時過ぎまで、四十市文化センターで開かれた藤原辰史さんの講演会には県内各地から栄養職員ばかりでなく、現職の市町村議や元市長、教育関係者も含めて40名をこす盛大な会となりました。

幡多教組の栄養職員部が中心となって企画し、組合員だけでなく、幡多郡内の栄養教諭、調理員さん等多数参加がありました。日頃からの横の繋がりを強く感じるのと同時に、手弁当でも学びたいという給食にかかわる皆さんの熱意を感じました。

講演では、学校給食の中心にとどまらず、地球規模での競争や大企業との関係

などにも踏み込んだ多面的な視野に立った内容で、これからの世界がどうあるべきか多く考えさせられる深い内容でした。「穀物メジャー」と言われる世界的大企業の巨大倉庫が黒海のオデーサにあり、ウクライナの穀物はそこに集積されているのに、世界各国への流通を少し遅らせる(PCでのクリックをしばらくとどめる)だけで、巨額の収入を得る現実。他方、流通のない穀物の価格は跳ね上がり、アフリカなどの貧しい国が飢餓に陥っているというところで、輸入食品店で見かけるトマトの缶詰ものは、ほとんどイタリア産と書かれてあるのに、現実には

世界に流通するトマト缶詰の8割が中国ウイグル自治区の安い労働力によって作られたピュレをイタリアに運んで添加物を多量に加え、イタリア産のレツテルを貼っているに過ぎない等、ショックキングな内容もありました。90分の講演の後、質疑の時間では、全国的には広がりを見せている給食無償化についての期待や、それと裏腹にあるが質の悪い食品を使わなければならないといった、アウトソーシングによる給食の質



が落ちたりすることへの不安が提起されました。藤原さんは「完全無償化は憲法に定められた義務教育の無償を実現させるもので、求めていくべきものである。その上で地場産品を使い、地場産業を支援する視点をもって、いろいろな人々と手をつなぎ、給食の質を保ち高めていく運動が肝要」と言われています。

講演会後は、講師を交え、様々な人たちとの交流会も行われ学びを一層深めました。

(幡多教組 小林郁生)

お城下

新年度のスタート。言いたいことはいっぱいありますが、年度スタートですから、ちよつと面

白い(?)話題から▼「ラーケーション」つてご存知ですか▼ラーニング(学習)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、欠席扱いにならずに平日に子どもが学校を休める制度。親の休みと学校の休みが合わない子どもとのふれあい促進が目的。年間3日が主流。子どもの休み方を柔軟にすることで、家族旅行などを促進するのも狙いとか▼23年度6月に全国知事会が提言。2学期から愛知県(名古屋を除く)と大分県別府市が導入。栃木県日光市と沖縄県座間味村がこの4月から▼「観光を主産業とする日光では親子で休日を通かせない家庭も多い」との言葉を讀むと、なるほどと思う面も。でも感想はいろいろ▼さて、自分たち。「年休が自由に取れる職場に！」が結論かな。(和)

女性部では、夏に行ったアンケートの分析を行い、次の3つの観点で、2月16日に県教委との話し合いを持ちました。概略を紹介します。

①多忙化解消について

学校現場の声を届けるためにアンケートの記述欄より、業務軽減を訴えました。

「研修が多いと、資料作り・提出物・報告書作成などに追われて、子ども達に向き合う以外のことが多い」「小規模校では、主任研も1人が掛け持ちで、クラスをあげる人が多い」「大規模校では、複数人がいない」「1学期の初任研は、クラスをあげることを減らすべき」「中学校のタテ持ちでは、学年の生徒の把握できなく努力して生徒を見る時間を作っている」「教室に入れない子も増え、きめ細やかな対応が不可欠」「部活動のことは地域も困っている。

賃金の保証をしてほしい」「県独自でしていること(県版学テ・若年研・授業改善プラン・タテ持ち等)をやめれば予算も浮き人も雇える」「メンタル病休も増え、講師もいないので、学校現場がもたなくなってきた」と訴えました。

県教委からは「教員業務支援員、部活動指導員、新卒者のサポート教員など独自の加配も考えているが、教員不足は深刻」「研修はできるだけ抑えている。限界までできているかは確認する」「減らしたものの、新しいものを確認している」「減っているものも示していくようにする」「見直し、総合的に対応していく」という趣旨の回答がありました。

叱責・「やめろ」と言って辞めさせてしまった・授業中まで来て授業が止まった・暴言等を見聞きしている方もつらい・している方は指導と思っ

ているので気づいていない・問題ない若い講師の方がパワハラで辞めてしまったり残念・妊娠中の方に対するのどう喝があることなど、現場の声を届けました。

県教委からは「校長研修でハラスメント防止研修し、相談窓口の周知徹底やガイドブックを改めて配布している」「県立学校アンケートは、把握・分析・相談に結び付くように自分事と捉えてもらうためにフイードバックしている」「日頃からコミュニケーションが大事でコミュニケーション不足にな

2月16日女性部、アンケートの声を県教委に届ける!

②ハラスメントについて

アンケートより、「ハラスメントを受けた、見た、聞いた」という割合は12〜13%で決して低くない数値。暴言・無視・

叱責・「やめろ」と言って辞めさせてしまった・授業中まで来て授業が止まった・暴言等を見聞きしている方もつらい・している方は指導と思っ

ているので気づいていない・問題ない若い講師の方がパワハラで辞めてしまったり残念・妊娠中の方に対するのどう喝があることなど、現場の声を届けました。

「相談した人が分からないように」「県立アンケートがかわったことで、手間が増えたので、再検討を。ハラスメントを見た声もあがってくるものがよい」と伝えています。

これに対して県教委からは「集計の効率化で学校を混乱させた。工夫を考えてみる」との趣旨の回答がありました。

産育休前倒し加配については「23年4〜8月の7名に対し前倒し加配をした」との回答でした。

③母性保護について

県教委からは、出生サポート休暇などの周知徹底については「23年6月改訂の育児ガイドブックで通知。管理職にはワーカーイフバランス積極的にと伝えたりHPで知らせたりしている」との回答でした。

女性部からは、講師不足で困っている学校現場の声を届け、「どうしたら就いてもらえるか、対策・改革など何か手立てを打たないと切迫を感じている。他県では、プール制を始めた所もあり、この教員不足に条件を良くして解消を目指したアクションを起こしている。他県に取れないような、新しい施策が必要。今は各職場で人を探して来てもらっている。県教委が電話がけしても断られることに

の趣旨の回答でした。少数職種栄養教諭からは「室戸は夏から未だに配置されないまま。未配置は生まないと言っているのに?今、4か所、正規を置いてほしい所に臨時を置いているので不安」などを指摘しました。事前回答で「昨年の3月末と同数の臨時講師を確保している。だが産育休も増える予想される。学生は採用試験に落ちると企業に行く。講師登録してくれない」という趣旨の回答でした。これに対して臨教の待遇を見直すことなどを要望しています。

24年度もアンケートなどで職場の声を集め、よりよい方向に改善するよう訴えていく予定です。(県教組女性部)

採用審査(教職教養)対策の勉強会を今年も行います。

明日を拓く連続講座
4/26(金) 5/11(土)

詳しくは県教組HPで!

県内教職員の皆様へ

2023年度中は、いろいろなことで県教組の活動にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

2024年度も、子どもたちと教職員の笑顔あふれる学校を作るために、また少しでも働きやすい職場を作るために、様々な運動に取り組んでいきたいと思っております。また、『教育通信』や県教組HPなどを通じて、その時々の情報発信にも心がけていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、お困りごとや共済(保険)のことなど、お気軽にご相談ください。お待ちしております。

高知県教職員組合

電話088-822-4135

- 執行委員長 細木 久義 (江陽小学校)
- 副執行委員長 森本 真一 (高知工業高校・定時)
- 副執行委員長 畑山 和則 (県教組)
- 書記長 植野 慎司 (大津小学校)
- 書記次長 石川 真人 (県教組)
- 執行委員 小田原典寿 (枝川小学校)
- 執行委員 山崎 真路 (神田小学校)
- 執行委員 一圓 紘嘉 (伊野小学校)
- 執行委員 塚地 伸平 (県教組)
- 執行委員 西山美喜子 (後免野田小学校)

おしゃべりしながら学習

養護教諭が集う「おしゃべり保健室」。組合員だけではなく、どなたでも参加出来る催しです。しばらくお休みしていましたが、この度復活しました！

養護教員が集まり、学校で困っていることや、疑問に思っていること、

る教材を作りました。どちらにも、駐車場もある便利なちより街テラスの会議室で実施。すぐに使える教材を作っているの、早速、学校で使った先生もいます。次は、掲示物なども作ってみたいなどという声も出ています。

たりしていませんか？ コーヒーやお菓子を食べながら、おしゃべりしながら、先生同士の親睦も深めて行きたいと思っております。ぜひ、お近くの先生を誘って、気軽に来てください。次回の開催は夏休みに予定しています。お楽しみに！

(養護教員部 森本千賀)

【みなさんの声より2】

★この3月末をもって閉校・休校になった学校が10校。その先生からの投書です。

〇150年の歴史に幕を閉じました。思い出すのは、豊かな自然に恵まれた温かい地域の中でのびのびと育った、素直でまっすぐな子ども達とともに力を尽くした楽しい思い出ばかりです。特に最後の一年は、一つ一つの行事への思い入れもひととき強く、今まで以上に力を尽くし、素晴らしい結果も残せ、最後にふさわしい年にも出来たと、子ども達ともども、大満足しています。閉校の記念碑に刻まれた文字は「絆」。本校自慢の、全校生の仲の良さや地域の温かさがいつまでも続くようにと、6年生が選びました。思い入れのある学校の閉校は本当に寂しいですが、4月からは大好きな子ども達とともに統合先への赴任がきまり、新たな絆づくりに期待も膨らんでいます。

教職員のみなさんのお悩みも受け付けています。パワハラ、セクハラなどの相談、実践上の悩みなど、誰かに聞いてもらいたい思いがあれば、一人で悩まず、ぜひお電話を。秘密厳守で対応しています。

教職員のための自動車保険は

全教自動車保険



教職員と家族を守って34年

WEBでかんたん見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を→

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

子育て・教育駆け込み寺 高知城ホール教育相談所



無料教育相談のご案内

教育に関するお悩み なんでもご相談ください！

☎ 088-873-0245

受付時間 14:00~18:00 (日祝日を除く)

〒780-0850 高知県高知市丸ノ内2-1-10 高知城ホール1階

☑ 教育相談所ホームページ

<http://www.kochijyohall.jp/wdoc/7q-grp05>

高知城ホール教育相談所で検索！



高知県内を流れる1・2級河川①

1	2		3	4	5
6			7		
		8			
9	10				11
12				13	
	14				

【タテのカギ】

- 1. 沖縄連帯の意を込めて、琉球方言「島人」
- 2. キロ、メガ、〇
- 3. 春、サナギが〇
- 4. 美味しいものを知っている〇〇〇

【ヨコのカギ】

- 5. 新しい学校・職場の習慣で〇〇に感じることもいくつかある?
- 8. 西洋風の刀。
- 10. ブランコ、砂場、滑り台など。公園の〇〇〇。
- 11. プテイングが元の言葉で知っていた? 洋風生菓子

【2月号の当選者】

- 12. 昨日の夜
- 13. くっつきワード
- 14. 全部ひっくり返すの意味

【レコカギ】

- 1. 新学期スタートの式。
- 6. 読めるかな?
- 7. 住み込みの逆
- 9. 春の花壇を飾る花の代表

のこと。
 をつけてね)を作つて下さい。①解答②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名⑤職場の話題か教育通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送って下さい。締切は5月31日。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただくことがあります。

【みなさんの声より】
 (3月末までにいただいたお手紙なので年度末の話題ばかりです。ご解答さい。)
 ○今年度もやっと終わりました。しんどい一年でした。
 ○去年の卒業式が雨だったので、今年は天気が良いといいなと思います。
 ○教室で育てている観葉植物が元気に育つて、春を感じます。
 ○臨教への一次審査全面免除は良かったと思います。しかし、臨教に対しての現場の声かけも大切だと思います。

○異動が話題になる時期になりました。在籍が長い方、初任の方、それぞれがそれなりの覚悟をしています。
 ○先日、息子の参観日に行きました。防災参観日で、1・2・3・6年生は教室で防災授業。5年生は、これまでの学習発表。それを聞く4年生。私は4年生の保護者として、お客さん役をしているだけの参観授業に納得がいかず不参加にしました。私だけでしょうか、これを参観日にする理由があるのかと問うのは?

○初めて「鬼の金棒」の学校に異動して、はや一年。あまりの忙しさに、微妙な季節の移ろいをあまり感じないまま春を迎えています。次年度は少しゆとりを持ちつつ、季節の移ろいを五感で感じながら仕事がしたいなあと、思う今日この頃。
 ○沢山の締め切りと行事に追われ、きりきり舞いの日々が年度末まで続きそう。
 ○あつという間に一年が終わりますね。冬来たりなば春遠からじ。受験生に春が来ることを祈っています。
 ○職員採用試験は早くなつてきています。異動発表が3月20日以降とは遅すぎないように思います。
 ○せめて3月初旬の発表にしてもらいたいです。発表後、引越し業者を3社見積もりして一番安いところをとるのであれば、先生方の都合も考えるべきだと思います。あまりにも時間が足りず、書類作成等に追われて先生方は更に疲弊しています。他県のようにもつと早く!



この4コマは、県内のある高校に通っている高校生にお願いしています。2年目。どうぞお楽しみください。

メールはこちら

